

ワーク・ライフ・バランスとは

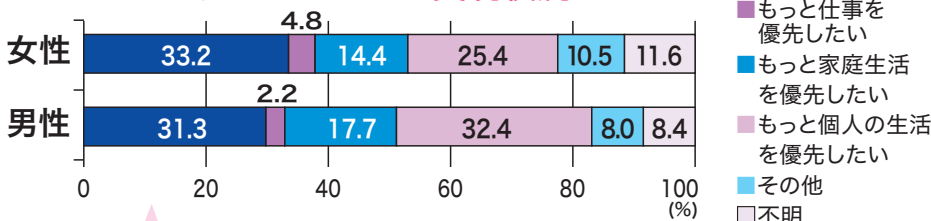
一人ひとりが、やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて、多様な生き方を選択・実現できること。

実現できていますか？

ワーク・ライフ・バランス

まだまだ少ないワーク・ライフ・バランスの実現

■ワーク・ライフ・バランスの実現状況



男女共に、ワーク・ライフ・バランスを実現できているのは約3割。4割以上の方が現状に満足しておらず、個人や家庭生活などを優先したいと分かっています。



四日市市長も育休を取りました！



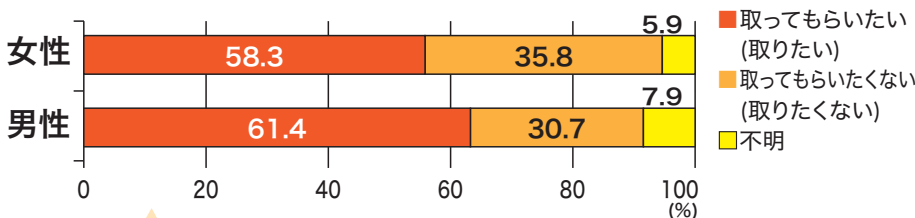
初めての育休を4月に5日間取りました。短い期間でしたが、育児や家事に専念し、大変ながらも、自分も成長できたと感じています。

子育ては育休期間だけでなく、まだまだ続きますので、皆さんと一緒にワーク・ライフ・バランスを実現できるよう頑張ります。



進まない男性の育児休業取得の中で

■男性の育児休業取得について



男性の育児休業取得率が3.16%（※）にも関わらず、全体で6割近くの方が、男性の育児休業取得に前向きな考えを持っており、女性よりも男性自身が取得したいと分かっています。

※厚生労働省 平成28年度雇用均等基本調査より

[平成29年度男女共同参画に関する市民意識調査(市内に居住する満18歳以上の男女計3,000人を対象)より詳しくは[HP](http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjjo/houkoku/index.html)を参照]

家事や育児などの家庭生活だけでなく、趣味や地域活動などの個人の生活も充実したいと思いつつ、なかなか難しいのが現状です。

仕事と生活がともに充実するよう、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しましょう。

毎年6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です

男女がお互いに尊重しつつ責任を分かち合い、一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮することができる社会が男女共同参画社会です。ワーク・ライフ・バランスの充実をはじめとするさまざまな取り組みの中で、そんな社会をつくっていきましょう。